

●株主メモ

事業年度：4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会：毎年6月

期末配当金受領株主確定日：毎年3月31日

中間配当金受領株主確定日：毎年9月30日

公告の方法：電子公告により行います

公告掲載URL

<http://www.caresupply.co.jp/ir/index.html>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座 口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先：三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)

【お知らせ】

1. 株券電子化によるご注意

(1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）

で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

(2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。

(3) 配当金の口座振込のご指定につきましては、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は今回から同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては、詳しくは各口座管理機関にお問合せください。

(4) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2. 配当金計算書について

本年から、配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

もっと見やすく! もっと探しやすく!!
生まれ変わった当社ホームページをぜひご覧ください。



企業情報・IR情報・事業概要・社会貢献活動・採用情報の5大項目に分け、情報を探しやすくしました。

IR情報を項目別に整理し、見やすくしました。また、今このページをご覧になっているのかも一目で分かるようにしました。



ホームページ

<http://www.caresupply.co.jp/>

IRページ

<http://www.caresupply.co.jp/ir/index.html>

株式会社日本ケアサプライ

〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目5番13号 第8東洋海事ビル8階

TEL.03-5251-3151

<http://www.caresupply.co.jp/>



株主通信は、環境に優しい大豆油インキを使用して印刷しています。

株主通信

2009年3月期(決算のご報告)

2008年4月1日～2009年3月31日

証券コード：2393



株式会社 日本ケアサプライ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当社グループは1998年の設立以来、「高齢社会への貢献」を社是に掲げ、電動ベッドや車いすなど、介護保険のレンタル対象商品を地域の在宅介護サービス事業者に貸し出す「福祉用具レンタル卸サービス事業」を中心に業容を拡大し、その後、主に子会社で展開する在宅介護サービス事業、アクティブシニアも視野に入れた商品販売事業と領域を広げてまいりました。

当期につきましても、中期経営計画の方針に沿って、コアビジネスである福祉用具レンタル卸サービス事業におきましては、取引先事業者の後方支援を強化するため、オリジナルの車いすやマットレスなどレンタル商品の買替えを本格化いたしました。また、次の柱として期待される在宅介護サービス事業におきましても新規開設や資本参加などにより運営拠点数を増やすなど、様々な取組みを行いました。

介護業界は急速な成長の反動もあり、2006年の介護保険制度改正以来、厳しい環境が続いておりましたが、2009年4月には介護報酬が制度開始以来初の3%アップとなるなど、やっと明るい兆しも見えてまいりました。

こうしたなか、当社グループは新たな中期経営計画を策定いたしました。引き続き「高齢者ケア事業のリーディングカンパニー」をめざし、高品質なサービスと地域に密着した事業展開を行い、株主の皆さまのご期待に応えてまいりたいと思います。

株主の皆さまには、『日本ケアサブライグループ』への今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
渡邊 勝利

トップインタビュー

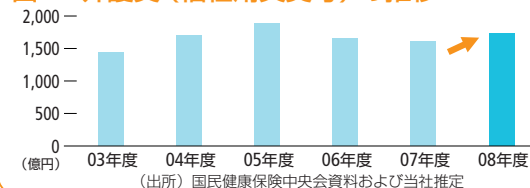
Top Interview

当期を振り返って

1

コアビジネスである福祉用具レンタル卸サービス事業では、2006年の介護保険制度改正以来、厳しい環境が続いておりましたが、福祉用具貸与に関わる介護費が2年ぶりに増加する見込み（図1）であり、業界としても事業拡大のチャンスにあります。一方で、福祉用具貸与事業者数は5,000社まで減少し、ピーク時の半分程度と見込まれ、淘汰の流れは変わっておりません。こうしたなかで、当社グループといたしましては、取引先事業者に対して新しいオリジナルの福祉用具を提供し、また、後述の在宅介護サービス事業を共同で運営し地域での経営基盤強化をサポートするなど、次の成長に向けた後方支援を行いました。

図1：介護費（福祉用具貸与）の推移



在宅介護サービス事業では、新設の2拠点に加えて、大手百貨店三越のグループ企業が運営していた会社に資本参加するなど順調に事業基盤を拡大しております。

業績面では、子会社群の重要性の高まりから当期より連結決算を開始し、売上高8,060百万円、営業利益1,116百万円、経常利益1,250百万円、当期純利益657百万円となりました。

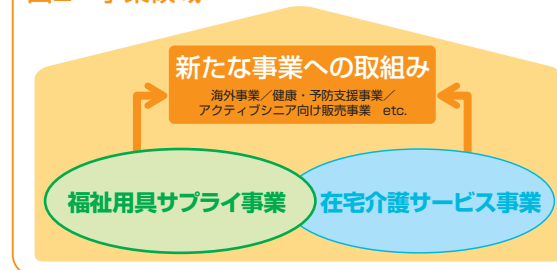
経営方針および来期の見通しについて

2

来期（2010年3月期）より始まる2カ年を対象に、さらなる成長に向けた中期経営計画を策定いたしました。

前中期経営計画を引き継ぎ、「高齢者ケア事業のリーディングカンパニー」をめざすことをビジョンに掲げ、福祉用具レンタル卸サービスおよび福祉用具販売をあわせた「福祉用具サプライ事業」、小規模多機能ケアを中心とする「在宅介護サービス事業」、これまでの知見を活かし、東アジア諸国を対象とした輸出入取引や介護サービス事業の展開、アクティブシニア向け販売、健康・予防支援事業などの「新たな事業への取組み」の3つの事業領域において安定的な売上・利益の成長をめざしてまいります（図2）。

図2：事業領域



来期につきましては、環境の変化に迅速に対応するため、サービス本部を営業本部に統合し、福祉用具サプライ事業を行う部門を一本化いたしました(図3)。同事業では、オリジナル商品の開発を加速するなど、競争力のあるレンタル商品の導入で差別化を図ると同時に、取引先事業者との連携を深め、地域密着での事業展開を行ってまいります。

在宅介護サービス事業では、北海道富良野市、石川県能美市の2拠点が事業を開始し、5月末現在9社10拠点が稼動しておりますが、これに加えて特に都市部で急増する高齢者単独世帯を対象にした「新たな住まい」のモデル事業も検討してまいります。なお、既に稼動している拠点は概ね順調に運営されており、業績への寄与も期待できるレベルとなっております。

損益面ではレンタル資産への投資増加により、一時的に減価償却費負担が増加いたしますが、基本的な収益力は回復してきていると判断しております。

※中期経営計画の詳細につきましては、「平成21年3月期決算説明会資料」をご参照(ホームページに掲載)

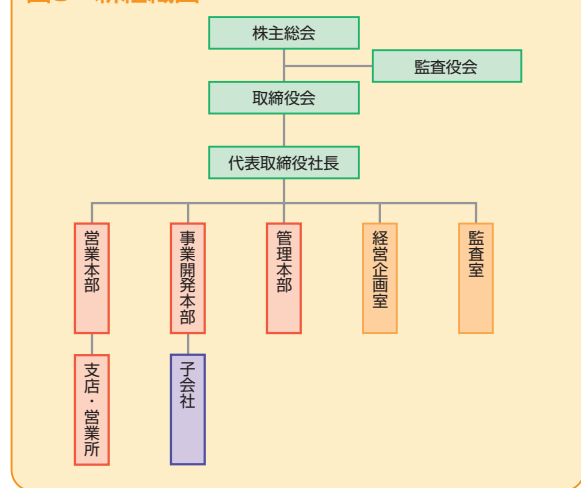


コーポレートガバナンス、内部統制システムについて 3

当社グループでは、すべてのステークホルダーの皆さまの負託に応え、企業価値を向上させるには、質の高い商品・サービスの提供はもちろんのこと、コンプライアンスや内部統制を重視した透明性の高い経営を推進することが不可欠と考えており、コーポレートガバナンスの強化は経営の最重要課題と認識しております。

今後とも、監査役会や内部監査組織の評価を受けながらPDCAサイクルの中で継続的に見直し・修正を行い、経営基盤の強化を図ってまいります。

図3：新組織図



福祉用具サプライ事業

「福祉用具サプライ事業」とは、介護保険制度の対象となる電動ベッド、車いす、入浴補助用具などの福祉用具を全国の在宅介護サービス事業者にレンタルまたは販売するビジネスです。

福祉用具は数多くの種類から目的にあったものを選んで使うことで、ご利用者の日常生活の活動範囲拡大や質の向上を図ることができます。当社ではオリジナル商品の開発を中心に、優れた機能を持つ商品を選び、また幅広いニーズに応えるべく豊富な商品を取り揃えております。当社の保有するレンタル商品は全国68拠点に**約60万アイテム**あり、国内最大級の規模となっております。さらにご利用者に安心してお使いいただくために、商品にバーコードを貼付し、商品がどのような状態にあるのか、いつどこで洗浄・消毒されたかなど履歴管理を行っております。

介護保険レンタル対象12品目

- 車いす・車いす付属品
- 特殊寝台・特殊寝台付属品
- 床ずれ防止用具
- 体位変換器
- 手すり
- スロープ
- 歩行器
- 歩行補助杖
- 認知症老人徘徊感知機器
- 移動用リフト

PICK UP 当社オリジナル！座輿行き調節でベストポジション。

座輿行き(大腿部)が調節できるため、適切な座位姿勢を保持。また、前輪が外に出ているため、足こぎが容易。

『けあ・ら・くど』
[当社オリジナル]

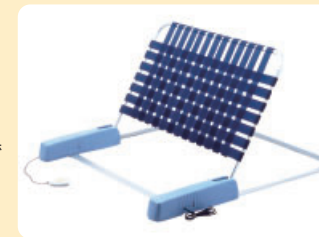


NEWS 2009年4月、介護保険レンタル対象に新たな福祉用具が追加。

- <追加項目>
- 起き上がり補助装置
 - 離床センサー
 - 階段移動用リフト

起き上がり補助装置
手元のボタン操作だけで背上げ・背下げ動作が楽に。

『おきらく』
[株東郷製作所]



在宅介護サービス事業

高齢者が住みなれた地域で安心して暮らせるよう、連続的一体的なサービスを提供し、在宅での生活継続を支援する小規模多機能ケアは、急増する認知症高齢者対応の受け皿としても注目されており、当初の全国1万箇所の設置予定から3万箇所程度必要とする意見が出されるなど、今後ますます重要性が高まると見込まれております。当社グループでは、事業者と共同で**全国9社10拠点**にて小規模多機能ケアを中心とした在宅介護サービスを展開し、今後も事業基盤の拡大を進めてまいります。



小規模多機能ケア『おら家（おらげ）』／訪問看護ステーション『訪問看護ステーション亀田』（福島県郡山市）



ご希望のお時間にご自宅へお迎えにあがります。

1



到着後、まずはお茶を飲んで一息。その後、血圧や体温を測って健康状態をチェック。心配事もお気軽に相談してください。

3



ひとりひとりにあったプログラムをリハビリ専門スタッフが作成。それに基づいたリハビリを無理なく・楽しく行いながら元気になりますよ！

5



たまにはおやつも手作り。リハビリにもなりますし、何よりみなさんと一緒に作るのとても楽しいです。また、みなさんと猪苗代湖まで出かけたことも！

2



レクリエーションをしたり、しばらく自由に過ごします。このあとはお楽しみのお昼食です！

4



スタッフとともに入浴へ。みなさんで入る「共同浴」の他に、お一人用のリフトの付いた「個浴」をご用意。

6



状況に応じて、『おら家』に宿泊もできます。もちろん、スタッフも一緒にいますので、ご利用者もご家族も安心です。

小規模多機能ケア
『おら家』
の一日

TOPICS

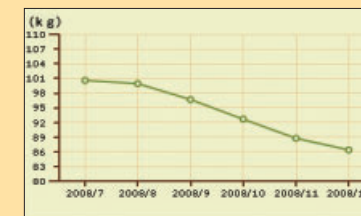
「メタボリック・ダイエット」実績紹介

◎ 特徴 ◎

朝（食事前）と夜（食事後）の体重の増加を600g以内に抑え、就寝中の基礎代謝により減少する体重（650～700g）を利用し、無理なくダイエット。

「メタボリック・ダイエット」携帯サイトは、朝夕の体重および一日の歩数を入力し、体重を自己評価・管理することによって生活習慣病の予防につながるサービスです。

ご利用者は、毎日朝晩の体重をチェック、並行して意識的に歩くことを心がけたり、定期的に担当医よりアドバイスをもらい、以下の結果を出しました。



実績 5ヶ月でここまで変わりました！

体重 **-12.6kg** 内臓脂肪面積 **-86.7cm²**
ウエスト周囲径 **-10.8cm** 皮下脂肪面積 **-114.9cm²**

データ提供：神奈川県予防医学協会

docomo

<http://metabo.mobi/>

au

<http://ez.metabo.mobi/>

docomo



au



月額利用料金315円（税込）

中尾ミエさん企画・プロデュース・主演！
ミュージカル『ヘルパーズ』への協力
(2008年10月16日～10月19日、新国立劇場)

「介護について、一般の方にもっと知ってもらいたい」

そんな思いにより、中尾ミエさん自ら企画・プロデュース・主演を行い、精力的に取り組んだミュージカル『ヘルパーズ』が上演されました。当社は、中尾ミエさん等の趣旨に賛同し、また、福祉用具の便利さやその機能を知っていただくために、メーカーとも協力し、最新鋭の車いすや転落・挟み込みの危険がないよう配慮された安全性の高い電動ベッドなど、様々な福祉用具を提供いたしました。



写真提供：(株)シーエイティブロデュース

『ヘルパーズ』
企画プロデューサー：中尾ミエ
制作：(株)アスレティック・ミエ・カンパニー
制作協力：(株)シーエイティブロデュース

「第14回ちいき経済賞 ヒューマニティー賞」受賞

かねてから、国内外の学校や公的施設などに電動ベッドや車いすなどの寄付活動に取り組んでおりましたが、この取組みと全国の高齢者に安全・安心の福祉用具を提供していることを評価していただき、(社)地域経済総合研究所(総務省認可団体)より、「第14回ちいき経済賞 ヒューマニティー賞」を受賞いたしました。



(社)地域経済総合研究所 <http://www.chiki.jp/>

拠点紹介

当社最北端の旭川営業所をご紹介します！



旭川営業所は、北海道中央部から道東を含む広大なエリア（地図参照）を担当しており、事業者を訪問するのにも片道2～3時間かかります。さらに、10月下旬から4月くらいまでは雪が降るので、移動が大変です。地吹雪で前が見えなくなることも。また、朝晩は、氷点下になるので、洗浄した福祉用具が乾きづらく、ひと苦勞。しかし、「高齢社会への貢献」をめざして、社員一同、がんばっています！



網島営業所長 所在地：北海道旭川市豊岡7条6丁目2-4

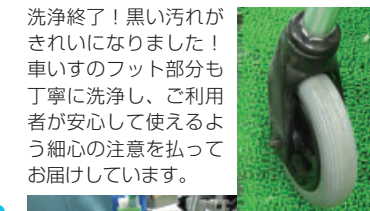
車いすの洗浄作業を見せていただきました



こちらは洗浄前。
黒い部分が汚れです。

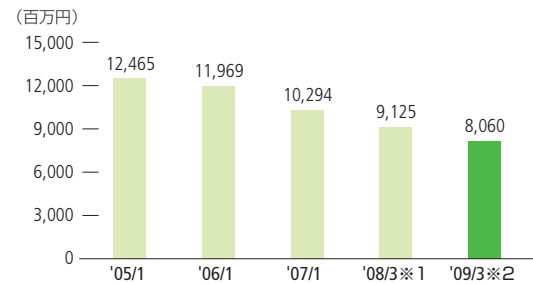


電解酸化水等で洗い流し、専用の洗剤でひとつひとつ丁寧に洗浄します。すべて手作業です！

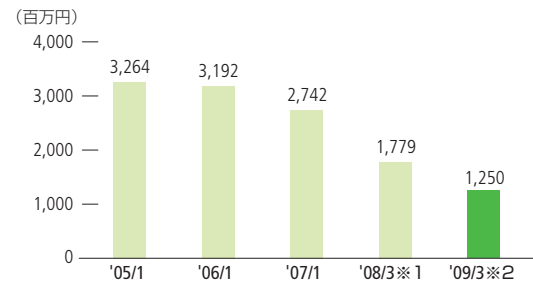


洗浄終了！黒い汚れがきれいになりました！
車いすのフット部分も丁寧に洗浄し、ご利用者が安心して使えるよう細心の注意を払ってお届けしています。

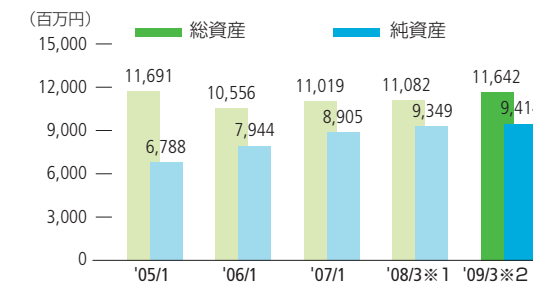
●売上高



●経常利益



●総資産／純資産



※1 決算期変更を行ったため、14ヶ月決算となります。
 ※2 当期より連結決算を開始したため、'08/3期以前は、非連結の数値を掲載しております。

配当性向

▶ 59.4%

株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要な施策として位置付けており、業績に対応した配当を行なうことを基本方針とし、当期は1株当たり2,200円とさせていただきます。

自己資本比率

▶ 80.6%

2006年4月の介護保険制度改正は当社グループに大きな影響を与えましたが、一定の利益を確保し、自己資本比率は80.6%と高水準を維持しており、財務体質は健全です。

有利子負債

▶ 0円

無借金経営を続けており、現金及び現金同等物の期末残高も4,483百万円と潤沢にあり、次の投資に備えております。

レンタル資産の償却累計率

▶ 81.6%

レンタル資産の減価償却年数は大半が3～4年となっております。今後とも資産の効率性にも留意しながら、安全・安心のレンタル資産を厳選の上、導入してまいります。

連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

	当連結会計年度 2009年3月31日現在	第2四半期 連結会計期間末 2008年9月30日現在
■資産の部		
I 流動資産	7,945	7,683
II 固定資産	3,695	3,621
有形固定資産	2,794	2,753
レンタル資産	2,169	2,090
その他	625	663
無形固定資産	198	257
投資その他の資産	702	610
III 繰延資産	0	0
資産合計	11,642	11,305
■負債の部		
I 流動負債	1,595	1,615
II 固定負債	632	601
負債合計	2,227	2,216
■純資産の部		
I 株主資本	9,378	9,039
資本金	2,897	2,896
資本剰余金	1,641	1,640
利益剰余金	5,242	4,902
自己株式	△ 401	△ 401
II 少数株主持分	35	49
純資産合計	9,414	9,088
負債純資産合計	11,642	11,305

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注)当期より連結決算を開始したため、前期の表示を行っておりません。

Point. 1

子会社の増加など重要性が高まったことから、当期より連結決算を開始いたしました。

Point. 2

当期末の流動資産には、現金及び預金1,486百万円、短期の資金運用を目的とした有価証券2,997百万円、三菱商事フィナンシャルサービス株式会社への短期貸付金2,000百万円を含みます。

Point. 3

福祉用具レンタル卸サービス事業のためのレンタル資産は、車いすや手すり等を積極的に購入した結果、当第2四半期末より78百万円増加し、2,169百万円となりました。

Point. 4

当期末の自己資本比率は80.6%、1株当たり純資産額は52,902.56円です。

連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)	当連結会計年度 2008年4月1日から 2009年3月31日まで
I 売上高	8,060
II 売上原価	3,934
売上総利益	4,126
III 販売費及び一般管理費	3,010
営業利益	1,116
IV 営業外収益	139
V 営業外費用	4
経常利益	1,250
VI 特別利益	—
VII 特別損失	8
税金等調整前当期純利益	1,242
法人税、住民税及び事業税	660
法人税等調整額	△ 68
少数株主損失 (△)	△ 6
当期純利益	657

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
(注)当期より連結決算を開始したため、前期の表示を行っておりません。

Point. 1

当期の売上高の内訳は、福祉用具レンタル卸サービス事業6,946百万円、在宅介護サービス事業474百万円、商品販売事業639百万円です。

Point. 2

当期純利益は657百万円となりました。これにより、1株当たり当期純利益は3,703.27円となりました。

Point. 3

当期より計上された「少数株主利益(損失)」とは、当社連結子会社の当期純利益(損失)のうち、当社の出資比率に相当する利益(損失)以外の部分を指します。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)	当連結会計年度 2008年4月1日から 2009年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	651
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 565
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 132
現金及び現金同等物の期首残高	4,616
現金及び現金同等物の期末残高	4,483

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
(注)当期より連結決算を開始したため、前期の表示を行っておりません。

Point. 1

当期の営業活動によるキャッシュ・フローには、レンタル資産の取得による支出1,712百万円および法人税等の支払額235百万円を含みます。

投資活動によるキャッシュ・フローには有形固定資産の取得による支出53百万円および投資有価証券の取得による支出68百万円を含みます。

財務活動によるキャッシュ・フローには、配当金の支払額533百万円および自己株式の取得による支出32百万円を含みます。

連結株主資本等変動計算書 (2008年4月1日から2009年3月31日まで)

(単位:百万円)	株主資本					少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
2008年3月31日 残高	2,896	1,640	5,118	△ 369	9,287	35	9,323
連結会計年度中の変動額							
新株の発行	0	0			0		0
剰余金の配当			△ 533		△ 533		△ 533
当期純利益			657		657		657
自己株式の取得				△ 32	△ 32		△ 32
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 0	△ 0
連結会計年度中の変動額合計	0	0	123	△ 32	91	△ 0	91
2009年3月31日 残高	2,897	1,641	5,242	△ 401	9,378	35	9,414

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 会社概要 (2009年3月31日現在)

社名	株式会社日本ケアサプライ
設立日	1998年3月26日
本社	〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目5番13号 第8東洋海事ビル8階
	TEL.03-5251-3151
	ホームページアドレス: http://www.caresupply.co.jp/
資本金	2,897百万円
事業内容	福祉用具サプライ事業、在宅介護サービス事業
従業員数	513人(連結)

● 役員 (2009年6月25日現在)

代表取締役社長	渡邊 勝利
常務取締役	石橋 進一
常務取締役	大西 研一
取締役	戸田 康典
取締役	塚越 伸夫
取締役	金子 博臣
取締役	有吉 純夫
取締役	山崎 和
取締役	野村 英夫
常勤監査役	角村 訓良
監査役	木村 秀之
監査役	伊藤 利之

● 拠点ネットワーク (2009年4月30日現在)

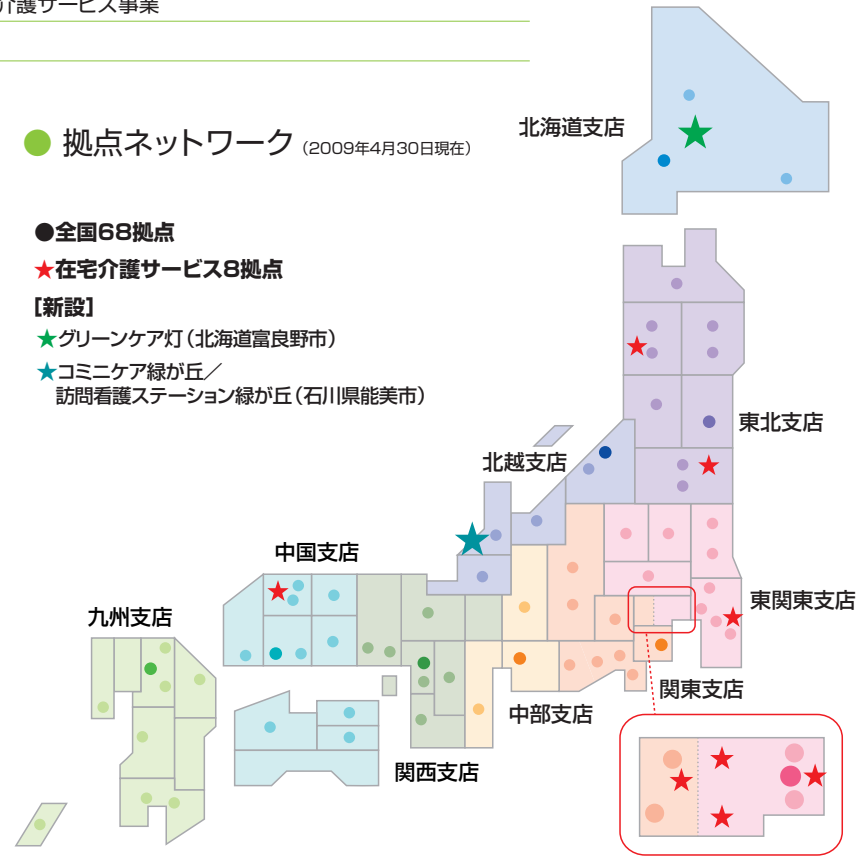
● 全国68拠点

★在宅介護サービス8拠点

【新設】

★グリーンケア灯(北海道富良野市)

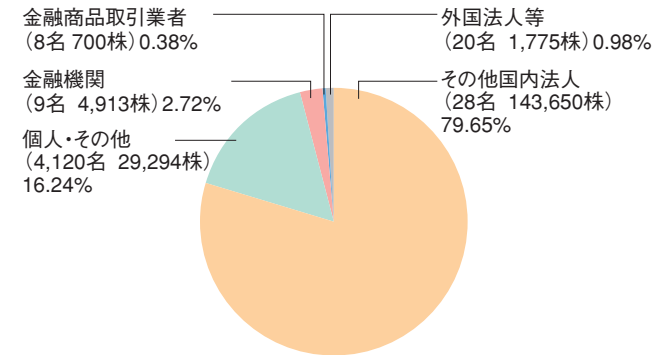
★コミュニケア緑が丘/
訪問看護ステーション緑が丘(石川県能美市)



● 株式の状況 (2009年3月31日現在)

発行可能株式総数	640,000株
発行済株式総数	180,332株
株主数	4,185名

● 所有者別分布状況 (2009年3月31日現在)



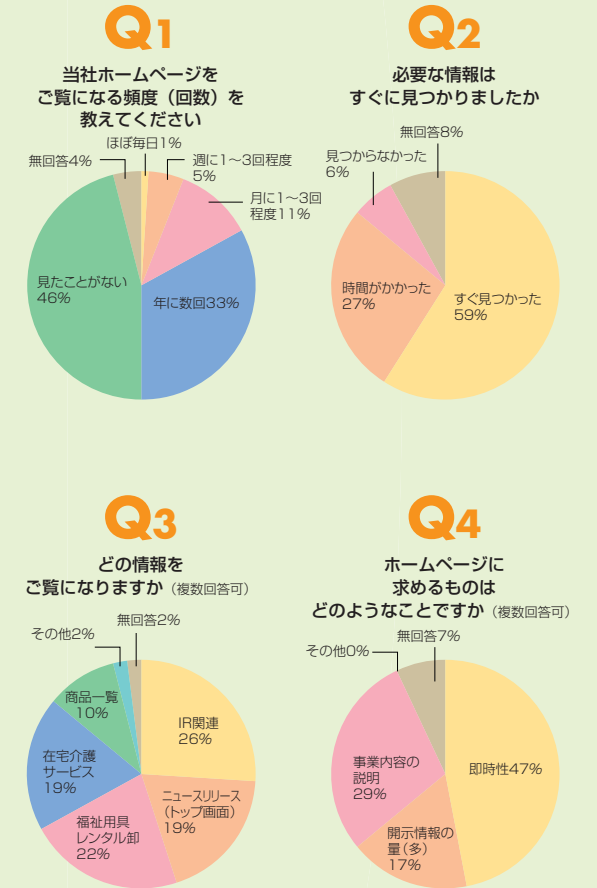
● 大株主の状況 (2009年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
三菱商事株式会社	116,200	65.54
三菱UFJリース株式会社	12,800	7.21
パラマウントベッド株式会社	8,000	4.51
株式会社三菱総合研究所	5,440	3.06
明治安田生命保険相互会社	2,400	1.35
NCS従業員持株会	1,986	1.12
株式会社南日本銀行	1,900	1.07
株式会社ヒューマンウェア	762	0.42
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	645	0.36
渡邊 勝利	543	0.30

(注)上記の他に、当社は自己株式3,044株を保有しております。

株主通信 2009年3月期(中間期のご報告) アンケート結果のご報告

ハガキおよびインターネットにてアンケートにご協力いただいた株主の皆さまには、心よりお礼申し上げます。なお、今回は当社ホームページへのご意見もいただきましたので、一部をご報告いたします。



皆さまからのご意見を受け、2009年4月に当社ホームページをリニューアルいたしました。詳しくは裏表紙をご覧ください。